

令和6年度 宮城県連合中学校技術・家庭研究部会 研究主題

未来を創造していく生徒の資質・能力の育成

～深い学びを実現させる指導法の工夫～

研究内容：「地域家庭生活」4家庭生活と地域のかかわり

授業発表

大崎市立古川中学校 教諭 佐藤美穂子

はじめに

- 1 研究主題・副題について
- 2 研究目標とめざす生徒像について
- 3 研究授業について
- 4 研究の成果と課題について

I 研究主題・副題について

(I) 研究のねらい

- ①これまでの知識と社会や生活との「つながり」から問題を見いだすことのできる生徒
- ②教師や生徒同士，その他の「つながり」から課題解決を考えることのできる生徒
- ③課題解決を通して学んだことを社会や生活に「つなげて」生かそうとする生徒

Ⅰ 研究主題・副題について

(2) 研究主題・副題のとらえ

① 「未来を創造していく生徒の資質・能力」について

- ア) 生活や社会の中なら問題を見いだして課題を設定し，課題を解決する能力
- イ) 技術・家庭科の「見方・考え方」を働かせ，他者と協働しながら，自分の考えを創造したり，表現したりする能力
- ウ) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し，創造しようとする実践的な態度

② 「深い学び」について

- ・ 見通しを立てる学習活動を取り入れる
- ・ 質の高い振り返り

2 研究目標とめざす生徒像について

(1) 研究目標

「気付く」「考え、学ぶ」「生かす」の3つの段階を設定し、指導を工夫する

(2) めざす生徒像

変化の激しい社会の中で、自分たちを取り巻く生活から問題を見出し、これまで学んで得た知識や技能を生かして他者と協働しながら見出した課題を解決し、そのことを今後の生活に生かすことができる生徒

3 研究授業について

(1) 研究主題との関連

本題材では、地域との関わりが希薄になっている生徒の現状を踏まえ、地域の社会福祉協議会や本校業務員の協力を得て、「地域とのつながり」を生かして研究主題に迫る。

大崎市に住まう高齢者の思いを知る活動を通し、自身が地域の一員として貢献できることがないか、具体的に考えさせる。

本校3学年の「総合的な学習の時間」では、地域理解・地域貢献の意識を高めることを目的とした「まちづくり学習」を行っている。福祉の視点を持って、中学生ができる地域理解・地域貢献についても考えさせる。

3 研究授業について

(2) 本時の題材と目標

本時の題材 高齢者とのかかわり

本時の目標 地域で活動する高齢者や、見守りが
必要な高齢者とのかかわり方について
考えることができる。(思考・判断・表現)

3 研究授業について

(3) 指導過程

① 「導入」の工夫

- ・ 高齢者の疑似体験（前時）の様子の写真を提示する
- ・ 介助体験（前時）の様子写真を提示する



3 研究授業について

(3) 指導過程

②-1 「展開」の工夫

- ・ 地域に住む見守りが必要な高齢者へのアンケート
- ・ 地域で活動する高齢者へのインタビュー



3 研究授業について

(3) 指導過程

② -2「展開」の工夫

- ・ 個人で考えをまとめ、グループで考えを深める活動



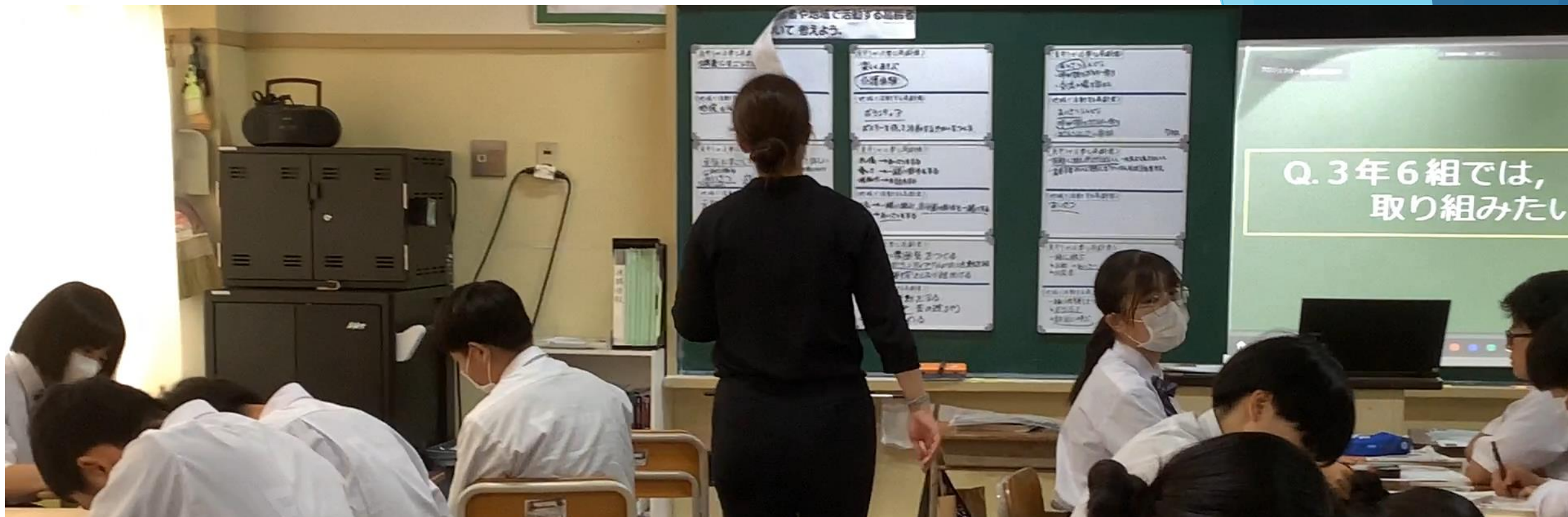
3 研究授業について

(3) 指導過程

② - 3 「展開」の工夫

- ・グループで話し合った内容を掲示し、共有する





自分が思っているより、高齢者の人たちは、自分たちと関わりたいと思っていることが分かったので、色々な活動に取り組み、高齢者の方達と交流する場面があれば、積極的に参加できたら良いなと思いました。

4 研究の成果と課題について

(1) 成果

- ・ 地域の高齢者や普段かかわっている高齢者へのアンケートやインタビューを視聴したことで、より理解を深め、様々なことに気づくことができた。
- ・ 見守りが必要な高齢者と地域で活動している高齢者がいることに気づき、様々な角度から高齢者について考えることができた。
- ・ 個人で考えグループで共有し合ったことで、高齢者に対してかかわりかたについて、よりイメージを持つことができ、前向きに実践につなげようという気持ちにつながった。

4 研究のまとめと課題について

(2) 課題

- ・限られた時数の中で、生徒主体に行える授業の工夫をさらに考えていきたい。
- ・本時の学習内容を、授業内で終わらせることなく、実生活で高齢者との関わりについて生かせるよう、様々な場面でつなげられる工夫をし、進めていきたい。

ご清聴ありがとうございました